

薄膜技術関連の  
助成対象者決定

## サムコ科技財団

【京都】サムコ科学技術振興財団（京都市伏見区、辻理事長）は、2023年度（第7回）の薄膜技術に関する研究助成対象者を決めた。「ナノコラム結晶を用いた三原色集積型発光デバイス」の基盤技術開拓」を研究課題とする、上智大学理工学部機能創造理工学科の富樫理恵准教授ら7人で、助成金額は各200万円。

同財団の研究助成は45歳以下の若手研究者が対象で、薄膜や表面、界面に関する研究を支援する。今回の研究助成は91人から応募があり、定数を2人増やし7人選定した。

9月13日に京都市サンプラザ（京都市下京区）で贈呈式を行う。ネオジム磁石の発明者である大同特殊鋼顧問兼NDFEB（京都市西京区）社長の佐川眞人氏による記念講演も予定する。